

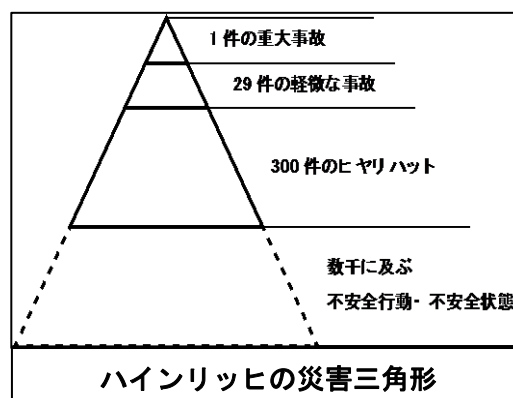
## 1. 建築物空気調和用ダクト清掃作業従事者研修テキスト改訂

この9月、これまで使用してきた従事者研修用テキストを、第3版として大幅に改訂いたしました。

大きな改訂点は、2つあります。

1つ目は、安全に関する記述を増やしたことです。近年、お客様からの安全に対する要請は、徐々に厳しくなっておりまして。そこで、従事者の皆様が現場での安全管理にしっかりと応えられるように、薬剤のSDS、事故が起きる仕組みと防ぎ方、KY、リスクアセスメントなどの記述を追加しました。

また、近年話題になっている、仕事の写真のSNSへの投稿に関する記述も追加し、近年の安全や作業マナーについて、従事者の方がしっかりと学べるようにいたしました。



2つ目は、厨房排気ダクト清掃に関する記述を増やしたことです。この従事者研修は「空気調和用ダクト清掃従事者研修」として、基本的には空調ダクト清掃に関する講義を行って参りました。しかしながら、ダクト清掃会社の中には、空調ダクト清掃よりも厨房排気ダクト清掃の方が主であるという会社も多くあります。そこで、厨房排気ダクトについても、汚染診断と清掃手順の記述を増やしました。特に、清掃手順については独立した章として設け、従事者の方の参考になるように詳しく記述いたしました。

JADCAでは現在、年に4回の従事者研修をオンライン講義形式で実施しております。講義内容も、テキストに合わせてアップデートしておりますので、ぜひ受講をお願いいたします。



## 2. 研修・講習のご案内

集合研修については、新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン研修とさせていただきます。

### (1) 厨房排気設備診断士養成研修及び更新研修

最近、焼肉店を始め厨房ダクト火災が依然として頻発しているが、厨房排気ダクトの点検・清掃管理が十分に実施されないことが火災延焼の要因であるケースが多いことを鑑み、厨房排気設備の汚染診断並びにクリーニング及び清掃評価診断ができる専門的な知識と技術を兼ね備えた診断士を養成する。

#### ★厨房排気設備診断士更新研修

日程	会場
2022年10月4日(火)	オンライン研修（ZOOM）利用

#### ★厨房排気設備診断士養成研修

日程	会場
2022年11月1日(火)～2日(水)	オンライン研修（ZOOM）利用

### (2) 空調ダクト清掃作業従事者研修

この研修会は、厚生労働大臣より研修実施団体として登録を受けた、一般社団法人 日本空調システムクリーニング協会が開催するものです。

今年度からは、初めて従事者研修を受講される方のための「1年目コース」と2回目以降の方を対象とした「2年目以降コース」に分けて研修を行います。

お申込みは開催の1週間前までとさせていただきます。

受講料：10,285円(税込)

対象者	日時
「1年目コース」 始めて研修を受講する 方の研修	2022年9月29日(木) 9:00～17:00 【開催終了】
	2022年1月26日(水) 9:00～17:00
「2年目コース」 2回目以降受講者対象 の研修	2022年10月26日(水) 9:00～17:00
	2023年2月28日(火) 9:00～17:00

### 3. 活動報告 7月～10月

日付	内容	
7月14日(木)	東京消防庁訪問 厨房委員会 再開打合せ	
7月27日(水)	ビジネスモデル委員会	ハイブリット オンライン&リアル
7月28日(木)	空調システム診断士更新研修	オンライン研修 (ZOOM)
8月2日(火) 8月3日(水)	JADCA スタンダード研修 空調版 JADCA スタンダード研修 厨房版	オンライン研修 (ZOOM)
9月13日(火)	JR 西日本不動産(株) 外部研修 「厨房排気設備の維持管理」 研修会	オンライン研修 (ZOOM)
9月21日(水) 9月22日(木)	空調システム診断士養成研修	オンライン研修 (ZOOM)
9月28日(水)	理事会 ビジネスモデル委員会	ハイブリット オンライン&リアル

### 4. 活動予定 10月～12月

日付	内容	会場
10月4日(火)	厨房排気設備診断士更新研修	オンライン研修 (ZOOM)
10月18日(火)	株空調保全工業 総合テクニカル研修センター 見学会	埼玉県
10月26日(水)	空気調和用 ダクト清掃従事者研修 2年目以降研修	オンライン研修 (ZOOM)
11月1日(火) 11月2日(水)	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン研修 (ZOOM)

## 5. トピックス

★外部研修会及びヒアリング会 9月13日



9月13日(水) JR西日本不動産開発株式会社様からのご依頼にて、設備管理責任者向け研修会にJADCA 花木俊介講師 (JADCA 理事) が「厨房排気設備の維持管理と火災予防」についてオンライン研修を行いその後ヒアリング会が開催いたしました。

研修会では90名を超える参加があり、その後のヒアリング会では設備管理者の皆様から実際に厨房排気設備を維持していく上で現場での点検及び清掃についてのご質問に対しご説明をさせていただきました。

研修後のアンケートを頂いたところ

- ・初學者様からは、写真付きの設備概要や火災事例によりこれまで分かっていなかったことが分かってきた。
- ・高架下店舗管理担当者様からは、実験内容による具体的なイメージができた、清掃頻度の算出方法が目新しい内容だった。
- ・全体として、これまでなんとなく知っていた設備について、清掃の重要性、具体的な方法が分かってよかった、日常業務に生かしたい、清掃の重要性をテナント様に理解いただくよう頑張りたい。などのご回答を頂きました。

JADCAの使命として厨房排気設備からの火災予防の一環として今後も啓蒙活動を行っていきたい所存でございます。



JADCA 花木講師



## 空調の話 空気の話

空調ダクト清掃に関わる人に、空気のことや空調のことを知ってもらうための連載の第2回です。

JADCA NEWSには紙面の都合でダイジェスト版を載せ、記事全体はJADCA ホームページに載せますので、そちらも合わせてご覧ください。

第2回のテーマは、「換気」です。

コロナ禍で、感染症対策として換気の重要性が注目を浴びました。もちろん、コロナ禍以前から、室内空気環境の良好に保つためには換気が重要であり、当然、空調設備に携わる人にとっては、常に意識しなければいけない事項です。

換気については、室内空気質、つまり室内空気の汚染濃度と換気の関係を示す、重要な計算式があります。

$$C = C_0 + \frac{M}{Q}$$

C : 室内の汚染濃度、 $C_0$  : 外気の汚染濃度、  
M : 汚染の発生量、Q : 換気量

数式が出てくるとよくワカランという方もいらっしゃるかもしれませんが、式が表していることはとても簡単なです。

部屋の中に人がいて、換気のために外から空気を入れて、その分を外に出していると思ってください。最終的な室内の汚染濃度 C を求めるための計算式です。 $C_0$  は、外気の汚染濃度です。外から入ってくる空気  $C_0$  が汚れていれば、室内の空気 C も汚れますね。だから、外から入ってくる空気は、清浄でなければいけないのです。

室内での汚染の発生 M が多ければ多いほど、室内空気 C は汚れていきます。例えば、部屋の中にいる人が多ければ多いほど、二酸化炭素濃度は上がっていきますね。つまり、室内での汚染の発生 M は少ない方がよいということです。

Q は換気量です。Q が分数の分母に来ていることに注意してください。分数の分母は、大きいほど、全体の値は小さくなります。たくさん換気をする、つまり換気量 Q が多ければ多いほど、室内空気 C は清浄になります。つまり、部屋の空気をきれいにするためには、ちゃんと換気をしてくださいということになります。

計算式を見ると難しそうに見えますが、式が表す内容は、部屋の中での汚染の発生を少なくして、きれいな空気で換気しましょう、という単純なことでした。

紙面の都合でダイジェスト版はここまでです。続きは、JADCA ホームページをご覧ください。



## 事務局 etcetera (エトセトラ)

### 休日の過ごし方 ～キャンプ編～

コロナ禍により、以前よりもキャンプをされる方が多いと聞きます。

キャンプにも色々あって本格的にテントを建てるものはもちろんですが、ログハウスなどを利用するもの、珍しいものではツリーハウスなるものがあります。これは想像のとおり自然の木の上の空間を利用したもので、ある意味、夢の空間、秘密基地のような神秘的でお洒落感がある様です。

最近では全くの手ぶらでキャンプを味わうグランピングなるものが存在します。グラマラス(魅力的) + キャンピングの造語だそうです、私的には、、、(「味わう」と表現したことで察して下さい)

我が家では、私の号令のもと、時間があって、はっきりとした休日が取れるときはよくキャンプに出掛けます。もちろん泊まります、日帰りではありません。(デイキャンプ、これも最近の流行です)

何をするか? 極力何も考えません。炭を熾して、焚き火をして色々なものを焼いたり煮たり、そしてそれを味わい感激する、これは良かった、次はこうしてみようと色々話す、これだけです。

あとはノープラン、川があれば川で遊び、山があれば散策したりと、自然の匂いと音、時間がゆっくり流れます。



私にとっての充電と少しのリセット。

日々の忙しさから逃れることも大事ですね。



※次回は ～キャンプ翌日編～を予定しています。

written 佐々木良信 (所属会社: (有)日研)

---

---

コロナ第7波も少し落ち着いてきましたが、長引くマスク生活も既に3年近くになりました。今回の波で何とか終息を迎えて欲しいと願いますが、この先どのようなようになるのかは現時点では誰にもわからないのではないのでしょうか。

先がわからないのは仕事も同じで、突然の変化に柔軟に対応しなければなりません、変化のスピードは増々速くなることが予想され、企業としても時代の変化に対応しながら行動していかなければなりません。

JADCAとしても様々な行動を起こし、会員企業の皆様の柔軟な対応の選択肢が増えるように情報を発信していければと思います。各会員企業の皆様におかれましては、業の発展のためにも協会へのご協力をお願いする場面があると思いますが、同じ会員企業として行動を共に行っていただければと思います。

---

## JADCA 事務局

〒111-0042 東京都台東区寿一丁目2番7号

TEL : 03-5828-6116 FAX : 03-5246-7380

E-mail : [info@jadca.jp](mailto:info@jadca.jp) URL : <http://www.jadca.jp/>